

韓国史 / 韓国の自然と経済と社会

舊石器時代、新石器時代、青銅器時代、古朝鮮、三国時代、高句麗、百濟、新羅、統一新羅、高麗、朝鮮、大韓民国

温帯気候、四季、梅雨、三寒四温、百頭大幹、自然主義、農業、遊牧民、王家、両班、中人、常人(良人)、賤民、大衆文化、シャーマニズム、仏教、儒教、超越意識、楽天主義

I. 韓国史

1. 先史時代

舊石器時代前期から後期の遺物が韓半島のあらゆる地域で発見されている。石英で作られた握斧、横刃斧、搔器のようにヨーロッパのアシュリアン石器文化と類似した石器がソウル北方の全谷里で発見され、世界的に注目を集めている。また北韓の平壤地域ではネアンデルタール人系統の化石骨も発見された。しかし舊石器時代の住民は洪積世を経過し北に移動し 3000~4000 年程の間、一種の文化的空白期間であったようである。〈石斧〉

紀元前 6000 年頃、一群の古アジア族が北方から南下し東海岸に沿って南に移住してきた。この遺跡として屈浦里(咸鏡道雄基)、鰲山里(江原道襄陽)、東三洞(慶尙道釜山)で発見された前期新石器時代文化の特徴的な土器の類型には、東三洞の隆起文土器や無文紋土器、そして鰲山里の口淵部を装飾した土器がある。

一方、西海岸では紀元前 5000 年に口淵部を装飾した土器から発展した櫛目文土器が、弓山里(平壤郊外)、岩寺洞(ソウル南部)など有名な新石器時代の遺跡で発見された。これら新しい土器が次第に他の土器と置き換わり、新石器時代の韓国を代表する土器の類型となった。〈土器〉

新石器時代の人々は元來、漁獲や狩獵を行い穀物採取の生活を営んだが、期新石器時代に入り穀物栽培を開始し始めた。紀元前 1000 年代初期にツングース系住民が舊滿州から韓半島に移住し、土着住民を同化させた。これが韓国人の直接的な先祖である。ツングース系住民は遼寧地方で韓半島北西に達する地域に居住した。歴史文獻ではこれらを濊貊(中國語では Weime という)と記録している。

濊貊の韓半島南部への移住は韓国の青銅器時代(およそ紀元前 1000-3000)年と一致する。韓国の青銅器時代の特徴的な遺物としては数多くの支石墓、いわゆる遼寧式青銅劍、粗い幾何學的な線と突起部が二箇所ある多鈕粗文鏡がある。荒くて文様がない土器の一群の土器の類型もこの期間に作られたものである。

新石器時代の韓半島住民と同様に青銅器時代の住民の宗教もシャーマニズム (Shamanism) であった。したがって新石器時代から継承されたトーテミズム (Totemism) の伝統は、青銅器時代にも特に韓半島北部で継承され初期歴史時代まで傳承された。上帝の息子が地上に舞い降り、女性に姿を變えた熊と夫婦となり、紀元前 3000 年代に古朝鮮を建國した傳説上の人物である檀君を産んだという建國神話は、青銅器時代の韓國人が作ったことと見なければならぬ。

紀元前 300 年ごろ鐵製の武器が作られ始め、前期鐵器時代(およそ紀元前 300-1 年)が始まった。青銅で作られた武器はもはや實用的なものではなかったが、一社會の權力者の地位を象徴するものとして残り、繊細かつ幾何學的な文様で裝飾された青銅製の禮式裝飾品が廣く利用された。農耕、特に米作が發達し鐵器が使われるようになると權力集團が成長發展を遂げた。紀元前 200 年代に韓半島北西側の大同江下流域に存在した王・衛滿の古朝鮮は中國北部に大きな脅威となった。

そして紀元前 108 年漢の武帝は水路と陸路に軍隊を派遣し漢帝が「匈奴の左腕」と呼んだ古朝鮮を滅し、古朝鮮の領土の一部に樂浪という植民地を設立した。

2. 古代国家の成立

西紀 1-300 年までの間を元三國時代と呼ぶ。この間、高句麗(紀元前 108-668 年)が鴨綠江中流に建國され、一方小さな部族社會が韓國南部で現れ始めた。南東地域の新羅(紀元前 57 年-935 年)および南西地域の百濟(紀元前 18 年-660 年)が次第に隣接地域を占領し、300 年には實質的な意味での王國に發展した。313 年高句麗が樂浪郡を滅し、韓國は完全な歴史時代すなわち三國時代に突入した。いくつかの部族社會の連盟體である伽耶は、新羅と百濟の間の洛東江下流に位置し、新羅に併合される 562 年まで異なる政治的・文化的地域であった。〈佛國寺〉

372 年佛教が中國から高句麗に傳來し 10 年ほど後に百濟にも傳わった。

古新羅が佛教を最後に受容したものの、他の國家より新羅において佛教が最も隆盛を極めた。王家が特別に保護し佛教は急速に成長し、藝術活動を刺激、中國文化輸入の橋渡しの役割もした。〈石窟庵〉

3. 統一新羅時代

三國間の戦いは混迷を極めたが、唐と連合した新羅がついに 660 年に百濟を、668 年に高句麗を滅し統一に成功した。古新羅 (Old Silla) という用語は統一以前の王國を指し、統一新羅は統一以後の王國を示す。慶州は古新羅時代から 935 年統一新羅が滅亡するまでのおよ

そ 1000 年間新羅の首都であった。古新羅時代で作られた古墳及び大部分が統一新羅時代に成立した多くの佛教遺跡は慶州の古の華麗さを今に残している。

統一新羅時代(668-935 年)、唐と緊密な政治的、經濟的關係を結び新羅文化は高度に國際的な國威を持つことになる。8 世紀中期に作られた慶州の石窟庵の素晴らしい彫刻が證明しているように、佛教及び佛教文化が隆盛を迎えていた。新羅の僧侶はより多くの知識を學び自らの宗教的見識をひろめるため中國やインドに旅立った。その中で慧超という僧侶は、インドにある佛教の中心地までの自らの長旅を綴った紀行文も世に残した。ペリオ(Paul Pelliot)により敦煌で發見され、現在はパリ國立圖書館に保管されている。その原本を複寫した寫本はアジアの佛教の歴史を明らかにする上で貴重な資料である。

しかし新羅の勢力は 9 世紀に入り弱體化し始めた。血統を守るため王家内で行なわれた近親婚の傳統は、新羅を弱體化させる結果を生んだ。この傳統とともに 9 世紀入り頻繁に起きた凶作と政府歳入の減少で經濟的に混亂を來たし、中央政府の力は弱まり辺方地域で反亂軍の出現が増加していった。

4. 高麗時代

韓半島中部で高麗(918-1392)を建國した王建も反亂軍を率いた將軍であった。王建は韓半島中西部に位置する開城を首都とし、新羅最後の王である敬順王から正式に降伏の意向を伝えられた。偶然にも Korea という英語名の起源となった高麗は、一時期舊滿州の高句麗の舊領土を再度取り戻そうと試みた。しかし高麗は契丹・女眞・蒙古という北方遊牧民族から激しい侵略を受け、多くの文化財が侵略期間に焼失・破壊された。事實、歴代の高麗後期の王は蒙古の王女を娶ることを強要された。

そのような變化にも拘わらず、高麗文化および藝術は黃海を通した宋との文化的交流により發達した。 <高麗青磁>

水準の高い高麗青磁瓦や金屬活字の發明によって高麗の名前は全世界に廣まった。13 世紀に蒙古が高麗を侵略した時、王室は西海に面する江華島に遷都し、そこで國家が佛の保護を受けるべく祈禱するため、八萬枚の木板で八萬大藏經を作った。高麗の王は高麗時代を通じて佛教に過度に依存した。王家の行き過ぎた佛教保護は佛教の墮落をもたらした。僧侶は政治的權力をもつ存在となり、そして税金を免除される地主ともなり、中には王妃との密會を楽しむ僧侶も現れた。

5. 朝鮮時代

1388 年、李成桂將軍は、新しく興った明からの攻撃を受けている元を支援するため、遠征

軍を指揮するよう勅命を受けた。李成桂は、北は鴨緑江まで進出したが、王の命令に背き開城に引き返してきた。李成桂は元と高麗は共に勢力が弱いことを悟った。李成桂は、新しい王朝を必要としていることを悟っていた。時代は、墮落した佛教と無力な政府により生じた社会的弊害を一掃するため革命を必要としていた。1392年、李成桂は朝鮮(1392-1910)と呼ばれる新しい王朝を開いた。朝鮮は佛教を排斥し、性理學を政治的・文化的規範として基盤に据えた。李成桂は明と緊密な関係を結び、朝鮮は北方遊牧民族及び南方の日本に対して文化的な意味で小中華體制を形成した。〈粉青沙器〉

15世紀にはハングルが創製され、朝鮮の文化的發達に新たな刺激を與えた。1403年、政府で作った銅活字によって印刷した本を出版するため、鑄字所が設立された。朝鮮は自國の藝術でも有名であるが特に粉青沙器、白磁、青華白磁が有名である。しかし16世紀の日本による侵略(壬辰倭亂=文祿・慶長の役)および17世紀初頭の滿洲族による侵略(丙子胡亂)により文化的に多くの損失を被った。〈青華白磁〉

18世紀に藝術および文學において鼓舞させる新しい動きが目につくが、前述の通りこの新しい傾向は後押しするだけの十分な社会的基盤が伴わず、長期間持續することは不可能であった。外國勢力が東アジア諸國を開港させようと躍起になっていた19世紀、朝鮮は小さな隱者の國として存在していた。

6. 日帝の支配と大韓民國の成立

1910年、日帝(日本)が朝鮮を併合したため、朝鮮王朝は滅亡し、以後35年間の日本の支配が始まった。しかし1945年第二次世界大戰が終焉を告げ、韓半島が解放され、大韓民國が成立した。韓國の長期に渡る文化的傳統は過去40年あまりの新生韓國が近代國家形成の上での基礎となった。

初代大統領李承晩はアメリカと協調し、韓国戦争で共產化になる危機に追い込まれていた韓半島を休戦線の南半島だけでも資本主義の世界として残すことができた。以後4.19学生革命と5.16軍事クーデターを経験した後、朴正熙大統領時代には經濟發達を目標に独断的指導力を發揮し、現在の經濟状態を成すことのできる基盤を築いた。以後光州市民運動にも関わらず全斗煥、盧泰愚大統領の軍事政府時代が続いたが、幸いに經濟的な安定は持續された。

金泳三大統領以後民主政府は成立したが、1997年外換危機を迎え社会が不安になったが、金大中大統領以後‘太陽政策’に力を注ぎ南半島の緊張を和らげるのに努力したが、際立った成果がないまま、最近の盧武鉉大統領時代に北朝鮮は核開發をする方向で応答している。現在、政治的腐敗はやや清算された段階だが、貧富間の問題がまだ解決される気配が

見えないまま、資本主義の市場経済体制を基盤にするという趨勢に大きな負担を与えている。

II. 韓国の自然と経済と社会

1. 自然環境

舊満州方面から日本に向けて南北方向に広がる韓半島は、ほぼニュージーランドに匹敵する総面積およそ 220,000 平方キロメートルで、典型的な温帯(・亞寒帯気候地域)に属する。韓国は四季が明瞭であるが春と秋が相対的に長く、夏と冬は暑過ぎたり寒過ぎる(→寒過ぎたりする)ことはない。年間降雨量は 600~1400mm で多い方で、降雨の大半は梅雨の時期に降るため暑さを緩和する役割をし、冬には三寒四温という気候のため寒さが緩和される。

耕作地は全国土の 5 分の 1 にすぎない。山地が多く韓半島は地質学的には古期造山帯に属する。

山の形状は丸みを帯び軟らかい稜線を形成している。傾斜の険しい山地はあまりない。活火山は存在しない。ちなみに最後の火山爆発は済州島で約 200 年前にあった。太白山脈は北へ蓋馬高原から伸び半島の背骨を形成し、国土を東西に二分する。国土の西側の地域は、黄海に流れ込むいくつかの河川ゆえに水量が豊富で非常に緩傾斜である点が特徴として挙げられる。韓国種の白松をはじめ多種の松および檜柏、櫟、紅葉樹が山地に多く分布する。春には連翹や朝鮮ツツジが、秋には唐辛子が軒下に干され吊るされている光景がよく見られ、季節によって変わる色彩が韓国の山河を彩る。

概して韓国は自然環境が非常に快適であり、景色は軟らかく温和で平和な感じを與えるのがその特徴である。山は穏やかで家屋の線は山と調和しているが、これは中国の家屋の線が鋭い曲線で形成され、また日本の家屋の場合は直線的なっていることとは対照的である。

居住環境と同様、自然環境は其中で暮らす人々の氣性に影響を與える。韓国人が自然に對して感じる喜び・満足・親近感は韓国の藝術に包含されている自然主義の形成に決定的な影響を與えた。しかしながらひとつの要因のみでその民族性が形成される譯ではないことを念頭に置かなければならない。

多様な要因が凝集し混合した實體が形成される。美しい自然環境があらゆるところで全く同じ民族性を生じさせるわけではない。多様な要因に體系化した全體として要因相互間の作用類型が民族性の形成に決定的な影響を與える。

2. 經濟

傳統的な韓國社會の經濟形態は農業で、韓國人は根本的に農耕民族であった。極東の歴史は北方遊牧民族および南方農耕民族間の生存のための闘争の歴史といえる。農耕民の暮らしは食糧供給が比較的安定した暮らしである。従って農耕民は定着かつ平和的で、保守的な性格を持っている。それ比べ遊牧民の暮らしは非定着的で流動的である。ゆえに遊牧民は頻繁に食糧や他の日常必需品を安定的に確保するため農耕地域を略奪するしかない。また遊牧民が暮らす自然環境は荒涼としているため自然と戦闘的で冒険的な民族性を形成する。バイキング(Vikings)やスキタイ人(Scythians)の藝術に見られるように、北方民族の藝術はその精神および形態において力強く動的かつ抽象的であるが、それと類似する藝術傾向は韓半島北部の高句麗藝術でも確認できる。

土地は配分された分、返すというのが明確な一般法則である。自然災害が周期的に発生するものの、収穫期に土地は、一般に注ぎ込んだ労働力と流した汗の代償としてわれわれに恵みを与える。ゆえに農民は土地を自身の生命のように惜しみなく愛するのである。農民は土地を偉大で信じるに値する救済者であると考え土地に依存するのである。これが農耕民族の藝術に現れる正直さ・シンプルさそして宗教的信頼の背景となるのである。これはまた農耕民族の藝術作品から表出される純粹さ、和やかさ、そして極度の無技巧性を物語る。

3. 社會

傳統的な韓國社會、すなわち朝鮮の社會には5つの社會階層が存在した。ごく限られた王家、官僚あるいは地主である兩班階層、秘書・通譯官・醫師・天文學者ら専門知識を持った人々である中人階層、常民、最後に白丁・藝能を行う廣大などの賤民らがそれで、常民階層の大部分は農民で、傳統的な手工藝品を作る匠人は一般的に普通の常民より低い待遇を受けた。上流層はそれだけ良い生活をするのができたものの、大部分は財産や権力を持つことができないゆえに社會内部で有効かつ文化的な起爆剤にはなり得なかった。

古代韓國では佛教が藝術品の生産者・保護者・消費者として文化の發達に多くの寄與をした。しかし朝鮮時代には佛教が排斥された後、不幸にも藝術を後押しする役割を擔う社會階層が存在しなかったため、藝術作品の創出は概して日常生活で機能的に使用される品物に限定された。

水準の低い農業技術と非効率的な行政により農民は常に貧困にさ迷い、農民の貧困は國內において全般的に商品經濟が低調であったことを證明している。これらすべての結果として機能商品や日常必需品を中心とする物々交換が存在しただけであり、奢侈品や高級生産品は抑制された。經濟活動が一般的に不振であったため、國家經濟を繁榮させる豪商ないし商人階層の出現が抑制されたのである。換言すれば傳統的な韓國社會には眞の意味の中

流層が存在せず、これによって文化の發達、特に藝術の發達に大きな障壁となった。

唐・宋以後、中國では市民階層と類似した近代的一般階層が出現し、大衆文化の形成及び發展に大きく寄與した。日本では錢湯・劇場・料亭があり社會的交際や娛樂の場所として使われ、同時に文學・芝居・藝術の發達を刺激することにもなった。日本の江戸時代の大衆文化の發達は多種多様な要因と深い關連がある。その時代の平和さ、海上貿易及び國內の藩主との交易により財産を築いた富裕層の出現、そして勿論居住環境の美しさや清潔さに對する日本人の自覺がその要因であった。

しかし、韓國には大衆文化發達のためのこのような基盤が存在しなかった。17・8 世紀にいわゆる「韓國畫(Korean painting)」畫風が生まれ、若干の發展はあったが、これを後押しする社會が存在しなかったためにその畫風は長期に渡って持續することはなかった。同時に手工業は、民俗藝術品を作る一種の家内手工業であった。しかしこのような經濟的・社會的條件によって朝鮮の工人が否定的な意味で近代化を妨げられていたことを示す好例である。商業主義や世俗化のような外部要因により汚されないまま朝鮮の工人は單純かつ無技巧的な藝術品を残した。

4. 宗教的自由

シャーマニズムは古代韓國の傳統信仰であった。しかし佛教が 4 世紀に傳わると國家および人々の心を奪った。部族間で戦をしていた三國の王家が自身の統治を正當化するため佛教を國家宗教として受容したことが、佛教が隆盛を極めた理由の一つに挙げられる。従って政府・政府權力及び佛教との蜜月關係は三國時代まで遡り、高麗が滅亡する時までこの關係は續いた。主に現世での不幸を癒そうと努める土着のシャーマニズムとは違い、佛教は現世の不幸を癒し死後の永遠な幸福をも約束するという點が相違する理由である。

韓國佛教は大衆に接近するためシャーマニズムの要素を受容し、よって佛教信仰が韓國人の暮らしや哲學に深く影響を與えた。これに比べ儒教は祭禮・儀禮・行動基準のような日常生活の形式的な面を規定するために受け入れたものである。儒教倫理、特に忠誠、父母や目上の人に対する尊敬、夫婦間の信義は社會を維持する基本的な絆と考えられていた。しかし個人の基本的な問題に關する限りにおいては、佛教が大衆の生活および思想により深く浸透した。

佛教は來世のために現世を否定する。佛教は貧しい人々に現實に對する諦念と現實からの逃避を促す哲學を教え、多彩な方法によって充足させようとする。韓國人の諦念意識、つまり戦争や惡政に直面する時自分の運命を受け入れる韓國人の驚くべき忍耐力は、長い時間を経ながら最終的にこの佛教式の考え方によって形成された人生觀なのである。

見方によれば厭世主義及び諦念意識は懷疑主義的人生觀を意味するとも考えられるが、別の觀點から見れば超越意識や樂天主義を意味するのである。諦念の意識はまさに樂天主義のもう一つの面である。

韓國的樂天主義はまず自然環境から育まれた。そしてこの樂天主義は危機を乗り越える過程で維持され擴大していった。この樂天主義は(+、)社會的地位が制限され經濟的に希望が見出せない工人に事實上現實から抜け出すための直觀的超越意識をもたらしたのである。

韓國的な生き方のこのような側面—自然環境・經濟・社會構造・人々の經濟的自由—を考察することによって韓國藝術の氣質を理解する上で基本となる要因が何かであるかを把握することができる。しかしこれは氷山の一角に過ぎない。事實、問題の核心に全く辿りつかないことさえある。つまりこのような要因を別個に捉らえるのではなく韓國の特殊な自然環境の中で作用しながら韓國の歴史的背景を形成した包括的かつ有機的な總體を形成するということを考慮しなければならない。これらが韓國人の民族性、ひいては韓國藝術の氣質の特徴を形成する上で影響を與えたのである。

- 1 韓國の先史時代の文化について話をしてみましょう。
- 2 韓國の歴史にはどんな王朝がありましたか？
- 3 統一新羅時代の文化的特徴はどうでしたか？
- 4 統一新羅時代と朝鮮時代は政治的、文化的にどのように違いましたか？
- 5 韓國の氣候について説明してみましょう。
- 6 伝統的な韓國社會の經濟形態は何を基盤としていましたか？
- 7 韓國の芸術に及ぼした自然的、經濟的影響を説明してみましょう。
- 8 朝鮮時代の社會構造はどうでしたか？

この時間では韓國史/韓國の自然と經濟、社會について学習しました。

次の時間では韓國美術 1 について学習をしましょう。

お疲れ様でした。